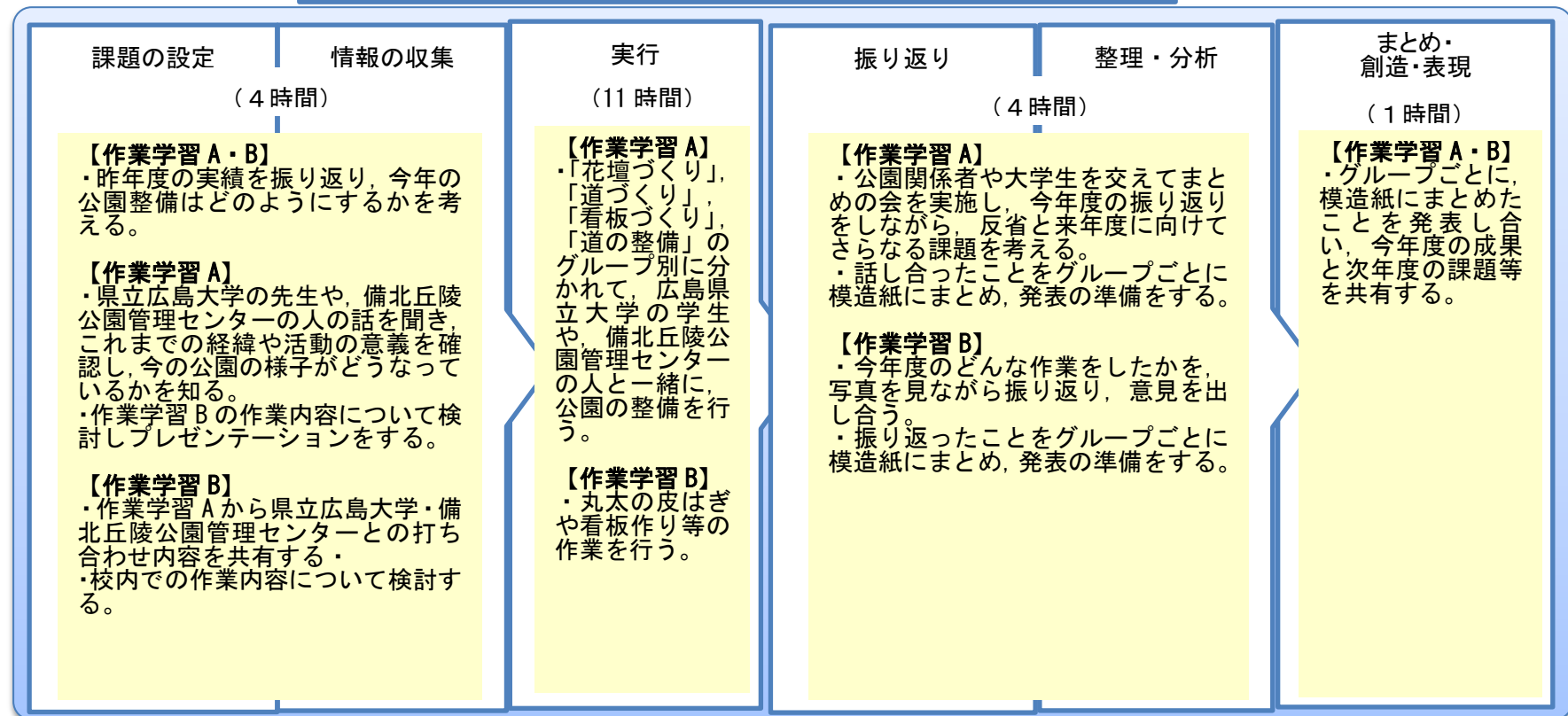


【教科・領域等名】 作業学習 A・作業学習 B

【単 元 名】 「ゆるるの森づくり」事業

【単 元 目 標】 勤労への意欲ややりがいをもって作業することができる。

## 単元計画（課題発見・解決学習の過程）



特別支援学校における広島版「学びの変革」アクション・プラン ～平成30年度全県展開に向けた本校の取組～

育てたい子供像	知:基礎的な知識を習得し、それを活用して、自ら学び、生活をより良くしようとする子供 徳:人や社会との関わりの中で、自分や他者を認め、協力して活動できる子供 体:健康で安全に生活できる知識・技能と体力を身に付けた生徒 言語活動:自分の意思を伝えるスキルを身に付け、相互に意見を交わして、新たな考えをまとめることができる生徒			
各学部 設定单元名	育成すべき資質・能力  <b>知識・技能</b> 「何を知っているか、 何ができるか」	<b>思考力・判断力・表現力</b> 「知っていること・できることを どう使うか」	<b>学びに向かう力・人間性</b> 「どのように社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか」	
	よくわかり、よくできる	わかったことをよく使える	よく関わり、よく生きる	
高等部	作業学習A 「ゆるるの森づくり 事業」	木材の性質を理解し、道具を適切に扱って看板や杭、木製製品などを作ることができる。 ⑤みんなが使いやすい森にするために何が必要かを考え、木製製品などを作ることができる。 ④木材の性質を理解し、道具を適切に扱って看板や杭、木製製品などを作ることができる。 ⑥木材の性質を理解し、道具を適切に扱うことに慣れることができる。 ③木材の性質を理解し、道具を適切に扱って看板や杭、木製製品などを作ることができない。	グループ別に分かれて、今年どんな整備をしたいかについて意見を出し合い、計画を立てている。 ⑤グループ別に分かれて、今年どんな整備をしたいかについて、立てた計画をもとに、準備をしている。 ④グループ別に分かれて、今年どんな整備をしたいかについて意見を出し合い、計画を立てている。 ⑥グループ別に分かれて、今年どんな整備をしたいかについて意見を出し合っている。 ③グループ別に分かれて、今年どんな整備をしたいかについて意見を出し合い、計画を立てていない。	立案した計画について、他の高等部生徒に伝えると共に、県立広島大学学生と協働して公園整備を行っている。 ⑤公園整備について、実践したことを振り返り、自分で課題について考えている。 ④立案した計画について、他の高等部生徒に伝えると共に、県立広島大学学生と協働して公園整備を行っている。 ⑥立案した計画について、他の高等部生徒に伝え、公園整備の準備を行っている。 ③立案した計画について、他の高等部生徒に伝えると共に、県立広島大学学生と協働して公園整備を行っていない。

特別支援学校における広島版「学びの変革」アクション・プラン ～平成30年度全県展開に向けた本校の取組～

育てたい子供像	知:基礎的な知識を習得し、それを活用して、自ら学び、生活をより良くしようとする子供 徳:人や社会との関わりの中で、自分や他者を認め、協力して活動できる子供 体:健康で安全に生活できる知識・技能と体力を身に付けた生徒 言語活動:自分の意思を伝えるスキルを身に付け、相互に意見を交わして、新たな考えをまとめることができる生徒			
各学部 設定单元名	育成すべき資質・能力  <b>知識・技能</b> 「何を知っているか、 何ができるか」	<b>思考力・判断力・表現力</b> 「知っていること・できることを どう使うか」	<b>学びに向かう力・人間性</b> 「どのように社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか」	
	よくわかり、よくできる	わかったことをよく使える	よく関わり、よく生きる	
高等部	作業学習B 作業学習（重複学級） 「ゆるるの森づくり 事業」	木材の性質を理解し、道具を適切に扱って看板や杭、木製製品などを作ることができる。 ⑤みんなが使いやすい森にするために何が必要かを考え、木製製品などを作ることができる。 ④木材の性質を理解し、道具を適切に扱って看板や杭、木製製品などを作ることができる。 ⑥木材の性質を理解し、道具を適切に扱うことに慣れることができる。 ⑦木材の性質を理解し、道具を適切に扱って看板や杭、木製製品などを作ることができない。	グループ別に分かれて、今年どんな整備をしたいかについて意見を出し合い、計画を立てている。 ⑤グループ別に分かれて、今年どんな整備をしたいかについて、立てた計画をもとに、準備をしている。 ④グループ別に分かれて、今年どんな整備をしたいかについて意見を出し合い、計画を立てている。 ⑥グループ別に分かれて、今年どんな整備をしたいかについて意見を出し合っている。 ⑦グループ別に分かれて、今年どんな整備をしたいかについて意見を出し合い、計画を立てていない。	現地作業グループから委託された作業の遂行に向けて、計画的に公園整備を行っている。 ⑤公園整備について、実践したことを振り返り、自分で課題について考えている。 ④現地作業グループから委託された作業の遂行に向けて、計画的に公園整備を行っている。 ⑥現地作業グループから委託された作業を、役割分担をして協力して行っている。 ⑦現地作業グループから委託された作業の遂行に向けて、計画的に公園整備を行っていない。

## 評価

	知識・技能 「何を知っているか、 何ができるか」	思考力・判断力・表現力 「知っていること・できることを どう使うか」	学びに向かう力・人間性 「どのように社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか」
	よくわかり、よくできる	わかったことをよく使える	よく関わり、よく生きる
作業学習 A	<p>・チェーンソーや鋏、鎌等、色々な道具を安全に使ってテーブルやベンチ、道作りを行うことができた。</p> <p>◎以上のことから <b>A評価</b>にする。</p>	<p>・滑り台やジャングルジム、ターザンロープ等の遊具を作りたいという意見を積極的に出すことができた。</p> <p>◎以上のことから <b>S評価</b>にする。</p>	<p>・大学生やグループの仲間と協力して公園整備を行い、今年度の振り返りをしながら来年度の希望をまとめ、発表することができた。</p> <p>◎以上のことから <b>S評価</b>とする。</p>
作業学習 B	<p>・ヘラや電動ドリルを安全に使って、皮はぎや看板作りを行うことができた。</p> <p>◎以上のことから <b>A評価</b>にする。</p>	<p>・具体的な意見を出すことは難しかったが、昨年度の経験を元に、材料を組み合わせるキャラを作ろうとする姿が見られた。</p> <p>◎以上のことから <b>B評価</b>にする。</p>	<p>・皮はぎや丸太切り、材料運びなど、役割分担をしながら協力して作業することができた。</p> <p>◎以上のことから <b>B評価</b>とする。</p>

\*グループとしての評価

## 発展的な学習

- 「振り返り」、「整理・分析」で話し合った意見や課題を実現するためにはどうしたらよいかを考えさせ、さらなる課題発見・解決学習に繋げていく。
- 作業学習 A グループと作業学習 B グループが協働して作業を行う機会を増やし、同じ活動でも生徒の意欲を引き出して主体性を促したり、他者との関わりを深めたりすることができるようにする。